

試験経過記録

区分 任意

長崎 営林署

(様式4)

課題

イヌマキの人工更新法

1. 目的

皆伐天然下種更新地においてイヌマキを植栽し、天然有用広葉樹導入と組合せ用材林としての育成方法を確立する。

2. 試験地

(1) 設定前の林況

天然生イヌマキが20%混交する33年生広葉樹天然林で昭和59年度皆伐した跡地である。

(2) 場所 石助山園有林67、林小班

(3) 面積 0.10 ha

(4) 設定 昭和61年3月12日

(5) 設定要領 イヌマキ2年生苗木200本を一部地帯のうち、丁寧植とした。

3. 調査結果

調査70本の苗木の苗木長と根元径について計測。(195本)

(表-1のとおり)

4. 保育

植栽本周囲の垣刈を実施。

表-1.

区分	植付時	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	伸長量
苗木長	41.7	51.4	62.1	102.3	134.9	168.2	190.1	148.4 ^{cm}
根元径	6.12	6.42	7.43	10.25	13.96	21.04	24.63	18.51
枯損	0	2	3	0	0	5	0	—

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

状 況 写 真

区 分 任 意

長 崎 営 林 署

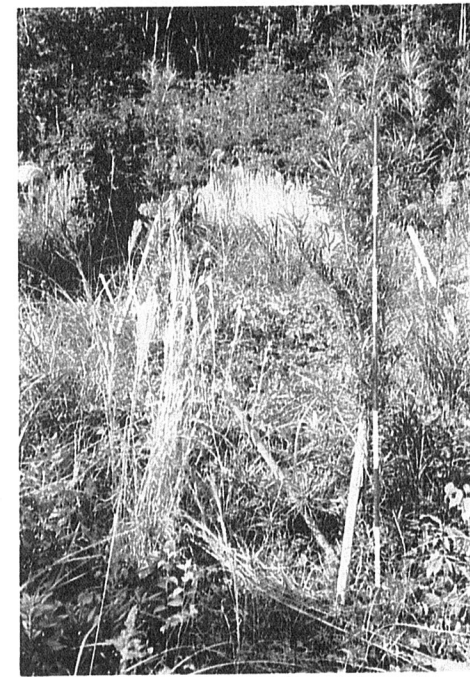
(様 式 6)

課 題

イヌマキの人工更新法



良好に教育するイヌマキ
苗木の状況



同左

技術開発実施報告

様式 2

長崎営林署

課題		スズマキの人工更新法			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続・新規 <input type="checkbox"/> 指示・自主 <input checked="" type="checkbox"/> 任意	担当	開発箇所	長崎	開発期間	自 86年度
	担当				至 87年度
年度別実施経過			5年度 実施報告		
61年度・植付時苗長調査 ・生長量調査 62年度・生長量調査 ・保育・坪刈り ・萌芽整理 63年度・同上 元年度・生長量調査 ・保育・坪刈り 2年度・同上 3年度・生長量調査 ・保育・坪刈り 4年度・生長量調査 ・保育・下刈			5年度・生長量調査 ・保育・下刈		

(様式4)

課題

イヌマキの人工更新法

1. 目的

皆伐天然下種更新地において、イヌマキと植栽した天然有用広葉樹導入と組合せ用材林としての育成方法を確立する。

2. 試験地

(1) 設定前の林況

天然生アカマツが20%混交する30年生広葉樹天然林と昭和59年度皆伐した跡地である。

(2) 場所 万助山国有林67区林小班

(3) 面積 0.10 ㊦

(4) 設定 昭和61年5月12日

(5) 設定要領 イヌマキ2年生苗木200本を地拵の上、丁寧に植えた。

3. 調査結果

調査プロットの苗長と根元径について計測した189本の平均値を表-1に示した。

表-1 調査結果表

区分	植付時	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	伸長量
苗長	41.7	51.4	62.12	102.29	104.9	168.2	190.00	208.02	249.39	227.69
根元径	6.12	6.42	7.43	10.25	13.96	21.0	24.63	29.06	34.52	28.4
枯損	0	2	0	0	0	1 (折入)	0	4	1	11

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

平成6年技術開発実施報告

様式 2

長崎 営林署

課題	伐中の人工更新法				
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 指示・自主 <input checked="" type="checkbox"/> 任意	担	指導者氏名	開発箇所	開発期間	自 56年度 5 至 57年度
年度別実施経過			6年度 実施報告		
61年度・植付時苗長調査 ・生長量調査 62年度・生長量調査 ・保育・坪刈り ・萌芽整理 63年度・同上 64年度・生長量調査 ・保育下刈(坪刈) 65年度・同上 66年度・保育下刈(坪刈) ・生長量調査 67年度・保育下刈(坪刈) ・生長量調査 68年度・保育下刈 ・生長量調査			生長量調査		

試験経過記録

区分 任意

長崎

営林署

(様式4)

1. 目的

皆伐天然下種更新地において仮マキを植栽し、天然有用広葉樹導入の組み合わせ、用材林としての育成方法を確立する。

2. 試験地

(1) 設定前の林況

天然生マツが20%混交する33年生広葉樹天然林で、昭和59年度、皆伐した跡地である。

(2) 場所 万助山国有林67.2林小班

(3) 面積 0.10ha

(4) 設定 昭和61年3月12日

(5) 設定要領

仮マキ2年生苗木200本を地帯の上

丁寧植とした。

3. 調査結果

調査プロットの苗木の苗木長と根元径について計測し、平均値を表-1に示した。

表-1 調査結果長

区分	植付時	61年度	62	63	元	2	3	4	5	6	伸長量
苗木長	41.7	51.4	62.12	102.29	134.9	168.2	190.08	238.22	269.39	324.88	283.18
根元径	6.12	6.42	7.43	10.25	13.96	21.0	24.63	29.36	34.52	36.76	30.64
枯損	0	2	3	0	0	(先所欠) 1	0	4	1	0	11

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

平成 7 年度技術開発実施報告書

様式 2-2

課題名	イヌマキの人工更新法			
課題区分	任意	開発個所	長崎	開発期間 自 61年度 5 至 67年度
当年度別実施計画		当年度実施報告		
<p>61年度・植付時苗長調査 ・生長量調査</p> <p>62年度・生長量調査 ・保育下刈(土平刈) ・萌芽整理</p> <p>63年度・同上</p> <p>元年度・生長量調査 ・保育下刈(土平刈)</p> <p>2年度・同上</p> <p>3年度・同上</p> <p>4年度・同上</p> <p>5年度・生長量調査</p> <p>6年度・保育下刈 ・生長量調査</p> <p>7年度・生長量調査</p>		<p>生長量調査</p>		